

JNCAP 2016 ロードマップ

試験・評価		補 足	2014 (26年度)	2015 (27年度)	2016 (28年度)	2017 (29年度)	2018 (30年度)	2019 (31年度)	2020 (32年度)	2021～ (33年度～)		
衝突 安全 性能 評価	乗員 保護	フルラップ	・胸たわみを基本とした評価方法、間値の変更		胸たわみを基本とした 評価試験の調査研究	胸部間値の変更後評価の実施		新たな間値による性能 評価を導入				
			・助手席ダミーの間値検討			基礎調査	試験方法等の作成					
		オフセット	・胸たわみを基本とした評価方法、間値の変更			胸部間値の変更後評価の実施						
			・後席ダミーの間値検討			基礎調査	試験方法等の作成					
		側 面	・MDB、搭載ダミー等の検討			基礎調査	試験方法等の作成					
		燃料（水素）漏れ試験	・FCV（燃料電池）を対象			試験方法作成	課題・新技術検討					
	頸部保護											
	歩行 者 保護	頭部保護	・衝突速度の変更、グリッド方式の活用			評価試験開始 (総合評価にあつては補正する。)						
		脚部保護	・間値の変更									
	総合安全性能評価		・間値変更等に伴う総合評価の変更		間値変更の調査	新たな間値による評価	評価方法の検討			調査研究	予防アセス評価と統合した次世代総合評価の検討	
		・軽トラック等の総合評価の検討			交通事故実態調査							
その他		・交通事故実態調査結果を踏まえてスモールオーバーラップ、ポール側突、後突燃料漏れ及び後席の頸部保護等の導入を検討			交通事故実態調査							
事故自動通報装置（ACN）		・普及促進手法のあり方も検討			ACN機能の紹介	ACN装備車両の公表	定量的な評価を検討 (※)					
予 防 安 全 性 能 評 価	被害軽減ブレーキ [対車両]			性能評価試験の実施								
	車線逸脱警報装置（LDWS）											
	車両後方視界情報提供装置		試験方法等の策定	性能評価試験の実施								
	被害軽減ブレーキ [対歩行者]		基礎調査	試験方法等の作成	性能評価試験の実施							
	車線維持支援制御装置（LKAS）	・車線逸脱防止装置（LDP）を含めて検討			試験方法等の策定	性能評価試験の実施						
	被害軽減ブレーキ [夜間]				試験方法等の作成	性能評価試験の実施						
	高機能走行用前照灯（AHB）				基礎調査	試験方法等の作成	性能評価試験の実施					
	夜間前方歩行者注意喚起装置											
他の予防安全装置	・被害軽減ブレーキ[対自転車]、（交差点出会頭）、ふらつき注意喚起装置、踏み間違え防止装置等については、事故実態、基準の策定状況及び諸外国の動向、現状技術の進展動向を踏まえて導入を検討する。				基礎調査							
C R S 性 能 評 価	前面衝突試験	・Qダミーによる試験実施の検討			基礎調査	調査研究 ・計測項目、試験条件の検討 ・評価方法、間値の検討	評価試験の実施					
	側面衝突試験	・ベルト固定式CRSを含めた試験法の検討										
	総合評価	・事故実態に基づいた評価方法の作成				・総合評価に向けた事故実態の把握等	総合評価の開始					
	使用性評価試験	・誤使用（ミスユース）削減を目的とした方策を検討		評価方法見直し	評価試験の実施	新たな誤使用防止施策の検討						
	i-SIZE対応車種	・i-SIZE普及に向けた方策の検討			対応車種の公表							

次世代ダミーの導入
に向けた調査研究

＜整理の考え方＞

- ① 現状の事故実態に応じて、死亡重傷者数の低減効果が高いと期待される試験方法あるいは装置を対象とする。
- ② 諸外国のNCAP機関が導入している等により参考となる試験方法を対象とする。
- ③ 高齢者・歩行者事故の拡大等の事故実態の傾向を踏まえて、今後効果が期待される装置を対象とする。
- ④ 新技術に対応出来るよう評価試験方法を適宜見直す。

※義務付けが予定されている欧州の動向を注視